

会議録

平成25年9月11日（木） 場 所 3階 第5研修室

会 議 名:第5回平成25年度木古内町決算審査特別委員会

出席委員：平野委員長、佐藤副委員長、福嶋委員、吉田委員、竹田委員

笠井委員、新井田委員、東出委員

欠席委員：なし

会議時間 午後 3時 7分～午後 3時31分

事務局 山 本、吉 田

委員長挨拶

平野委員長 それでは、定刻になりましたので、ただいまから9月10日に引き続き第5回平成25年度木古内町決算審査特別委員会を開会いたします。

ただいまの出席委員は8名でございます。

よって、委員会条例第14条の規程による委員定足数に達しておりますので、委員会は成り立ちました。

ただちに本日の会議を開きます。

本日の会議次第は別紙配布のとおりであります。

1. 表決

平野委員長 まず1番といたしまして、平成25年度決算審査特別委員会の表決についてでございます。

当委員会に付託されました認定第1号平成25年度木古内町一般会計決算認定ほか8件について、表決を行います。

お諮りいたします。

表決は1件ごとに行いたいと思いますが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ声あり）

平野委員長 ご異議ないものと認めます。

次に、この特別委員会は、議長並びに監査委員の又地議員を除く8名の全議員による委員会でありますので、質疑、討論を省略することにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ声あり）

平野委員長 ご異議ないものと認めます。

それでは、表決を行います。

お諮りいたします。

認定第1号 平成25年度 木古内町一般会計決算認定については、認定することにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ声あり）

平野委員長 ご異議なしと認め、認定することに決定をしました。

お諮りいたします。

認定第2号 平成25年度 木古内町国民健康保険特別会計決算認定については、認定する

ことにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ声あり)

平野委員長 ご異議なしと認め、認定することに決定をしました。

お諮りいたします。

認定第3号 平成25年度 木古内町後期高齢者医療特別会計決算認定については、認定することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ声あり)

平野委員長 異議なしと認め、認定することに決定をしました。

お諮りいたします。

認定第4号 平成25年度 木古内町国民健康保険病院事業会計決算認定については、認定することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ声あり)

平野委員長 ご異議なしと認め、認定することに決定をしました。

お諮りいたします。

認定第5号 平成25年度 木古内町水道事業会計決算認定については、認定することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ声あり)

平野委員長 ご異議なしと認め、認定することに決定をしました。

お諮りいたします。

認定第6号 平成25年度 木古内町介護老人保健施設事業会計決算認定については、認定することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ声あり)

平野委員長 ご異議なしと認め、認定することに決定をしました。

お諮りいたします。

認定第7号 平成25年度 木古内町介護保険事業特別会計決算認定については、認定することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ声あり)

平野委員長 ご異議なしと認め、認定することに決定をしました。

お諮りいたします。

認定第8号 平成25年度 木古内町介護サービス事業特別会計決算認定については、認定することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ声あり)

平野委員長 ご異議なしと認め、認定することに決定をしました。

お諮りいたします。

認定第9号 平成25年度 木古内町下水道事業特別会計決算認定については、認定することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ声あり)

平野委員長 ご異議なしと認め、認定することに決定をしました。

以上のおり、認定第1号 平成25年度木古内町一般会計決算認定ほか8件については、全て認定することに決定をいたしました。

2.委員会報告まとめ

平野委員長 引き続き、委員会報告のまとめを行います。

この度、委員長を務めさせていただきました、私平野と副委員長の佐藤で原案を作りましたので、皆さんにお目通しいただきたいと思います。

暫時、休憩をいたします。

休憩 午後 3時10分

再開 午後 3時27分

平野委員長 休憩を解き、会議を再開いたします。

委員会報告のまとめといたしまして、休憩中にも意見を皆様からいただきましたので、審査所見としてまとめましたので読み上げます。

平成25年度各会計決算では、人口減少や少子高齢化という課題に直面し、さらには経済状況の長期低迷により税や使用料等の収納率が改善されておらず憂慮される状況にある。

各担当部署による懸命な対応は理解しつつも、さらなる熟考を重ね新規対策を図るとともに、町民に対する不平等感を取り除くためにも、法的手段を含め公平で公正な行政運営を行う中で財源確保に努めるよう強く求めるものである。

国においては、地方創生を最大の課題としてとらえ、人口減少対策や雇用を重視する考えが示されているものの、地方交付税の算定方法の見直しも行われていることから、今後とも充分注視し健全な財政運営を図られたい。

各企業会計においては、人口減等による影響がさらに著しくなることから、健全経営・健全運営に向け、経費節減は当然のことさらなる経営手腕が発揮されるよう望むものである。

各担当部署による審査では、特に生涯学習課の数年にわたるスクールバスの中学生までの利用拡大の議論や、産業経済課の各種物産展等における参加に対する成果など、事業報告や検討結果等については事前に詳細な資料提出を行うとともに、適切な報告や答弁が図られるよう期待する。

また、事前に申し添えているにもかかわらず、各担当者からの説明内容の差異や全節の読み上げなど、統一性が図られていない。特別委員会における審査の効率を上げるためにも今後、さらなる研究を図り全担当部署において共通認識を整えた上で、今後の特別委員会に反映されるよう望むものである。

以上、全文読み上げましたが、皆様からのご意見をお聞きします。

吉田委員。

吉田委員 「各種物産展等における参加に対する成果」だけれども、「効果」という文字のほうがいいのではないですか。

平野委員長 暫時、休憩をいたします。

休憩 午後 3時30分

再開 午後 3時30分

平野委員長 それでは、休憩を解き、会議を再開いたします。

審査所見は、先ほど読み上げたとおりでございます。まとめてさせていただきます。

3.その他

平野委員長 その他はございませんか。

(「なし」と呼ぶ声あり)

平野委員長 なければ、第5回平成25年度木古内町決算審査特別委員会を終了いたします。

長期にわたり不慣れな委員長ではございましたが、皆様方各委員のそして佐藤副委員長の協力を得て何とか無事終えることができました。

以上で、委員長の職を解きたいと思えます。

皆さん、ありがとうございました。お疲れ様でした。

説明員、傍聴人、報道 なし

平成25年度決算審査特別委員会
委員長 平野武志